

2014 年度第 1 回原子力施設見学会

関東地区施設見学会

- 実施日：平成26年9月4日（木）
- 集合／解散場所：JR 稲毛駅（集合）、JR 川崎駅（解散）
- 見学場所：放射線医学総合研究所
東芝 京浜事業所
- 参加者数：15名（男性12名、女性3名）
- 参加者内訳：

	学校	学部	学科・専攻	学年
1	お茶の水大学	理	物理	B3
2	お茶の水大学	理	物理	B3
3	帝京大学	理工	航空宇宙工学	M2
4	埼玉大学	理工	応用化学	M2
5	埼玉大学	理工	応用化学	M1
6	埼玉大学	理工	応用化学	M1
7	埼玉大学	理工	応用化学	M1
8	室蘭工業大学	工	応用物理	B2
9	日本大学	理工	土木	B4
10	日本大学	理工	機械	B3
11	日本大学	理工	物理	B3
12	日本大学	理工	精密機械	B3
13	福井大学	工	原子力	M2
14	東京工業大学	工	機械	B4
15	東京工業大学	工	電気電子	B4

関西地区施設見学会

- 実施日：平成26年9月8日（月）
- 集合／解散場所：近畿大学（集合）、JR 西明石駅（解散）
- 見学場所：近畿大学 原子力研究所
三菱重工業 神戸造船所（本工場）および二見工場
- 参加者数：21名（男性16名、女性5名）
- 参加者内訳：

	学校	学部	学科・専攻	学年
1	神戸大学		海事科学	D2
2	神戸大学		海事科学	D2
3	神戸大学		海事科学	D1

4	神戸大学	工	機械	B4
5	福井工業大学	工	原子力技術応用工学	B1
6	福井工業大学	工	原子力技術応用工学	B2
7	京都大学	工	合成・生物科学	M2
8	京都大学	工	工業化学	B4
9	京都大学	工	原子核	M1
10	京都大学	工	物理材料科学	B2
11	京都大学	工	原子核工学	B4
12	京都大学	工	工業化学	B2
13	京都大学	工	物理	B3
14	京都大学	工	物理工学科材料科学	B3
15	大阪大学	工	電気電子情報	D3
16	大阪大学	工	電気電子情報	M2
17	大阪大学	工	環境・エネルギー	B4
18	大阪府立大学		量子放射線, 化学生物	M1
19	九州工業大学	工	マテリアル工学	M1
20	鳥取大学	工	電気電子	B3
21	徳島大学	工	知能情報	B3

見学内容

関東地区見学会では、千葉県稲毛市にある放射線医学総合研究所と神奈川県横浜市にある東芝 京浜事業所を、また、関西地区見学会では、大阪府東大阪市にある近畿大学原子力研究所と兵庫県神戸市にある三菱重工 神戸造船所（本工場）および明石市にある二見工場を施設見学した。

【関東】放射線医学総合研究所

- ・ HIMAC 重粒子癌治療装置
- ・ 開発中のオープン PET 装置
- ・ 静電加速器



HIMAC 加速器の説明

【関東】東芝 京浜事業所

- ・ コアバレル
- ・ ベントフィルター
- ・ 放医研向け重粒子新型ガントリー
- ・ 核融合イーターコイル&ケーシング
- ・ タービン



本工場全景

(東芝 HP より)

【関西】近畿大学 原子力研究所

- ・ 原子力概要講義
- ・ 研究用原子炉とその制御盤
- ・ 中性子画像等の解説



原子炉制御盤の説明

【関西】三菱重工

< 神戸造船所 (本工場) >

- ・ 海上風力発電ポール
- ・ 原子力総合保全訓練センター

< 二見工場 >

- ・ 汚染水タンク
- ・ 核融合イーターコイル&ケーシング



神戸造船所（本工場）（三菱重工 HP より）



二見工場（三菱重工 HP より）

参加者コメント【関東／関西共通】

- 事前の資料で当日の説明が理解しやすかった。
- レベルも丁度良かった。
- 普段見ることができない施設を見学でき、現場の方の生の声を聴ける貴重な機会であった。スケール感も実感できた。
- 続けて企画してほしい。

参加者コメント【関東】

- 今まで“ふわっと”した原子力・放射線に対する知識理解がしっかりしたものになった。
- 重粒子の特性を生かして癌治療を行っている等、医療応用について知らない事ばかりだったが大変勉強になり興味を覚えた。
- 最新放射線医療研究や精度の良い大物加工物を目の当たりにして驚きの連続であった。
- このような技術発展のために勉強しようと感じ、起爆剤となりました。
- ベントフィルターを付けることが義務付けられたこと、その製作現場を見学できたことに感動した。

参加者コメント【関西】

- 近大原子炉を運転しているところ、それを利用した（ミニ）実験を是非見たい。
- 橋本先生（近大）の講義では技術者の生の声（ストイックな姿勢）を聞いて良かった。
- 世界トップレベルの物づくりの現場を目の当たりにして驚かざるを得なかった。特に壮大さと正確さを両立した溶接は見ていて憧れた。
- 核融合の部品の製造過程を見学できるとは思っていなかったので非常に感激した。講義で学んだことが実感できた。